

IPBES生物多様性の損失の根本的要因、変革の決定要因及び生物多様性2050ビジョン達成のためのオプション（社会変革）に関する評価報告書・政策決定者向け概要（SPM）の概要

公正で持続可能な世界の実現に向けた社会変革（原則、課題、戦略、ビジョン、すべての人々の役割）に関する知識を評価

キーマッセージ

①地球規模の持続可能性に向けた変革の指針として4つの原則

- 公平と公正：社会変革を公正な方法で設計。人とヒト以外の種にとっても公平で公正
- 多元性と包摂：様々な価値観、主体、世界観を認識し、尊重
- 尊重と互惠的な人間-自然関係：道具的価値から関係的価値へ
- 適応学習と行動：予期せぬ結果、新たな影響、緊張を察知し、継続的に対応

②克服すべき課題

- 根強い支配関係、特に植民地時代に生まれ、伝播した支配関係
- 経済的・政治的不平等
- 不適切な政策と制度
- 持続不可能な消費・生産パターン、個人の習慣・慣行
- クリーンな技術への限られたアクセスと、統合されていない知識・革新システム

生物多様性の損失と自然衰退の根本的な原因に対処するために、
価値観、構造、慣行の転換が必要

③5つの行動戦略

1. 自然と人々にとって価値のある場所を保全・再生（生物文化的アプローチ）
2. 自然衰退の最大の原因となっている部門（農業や畜産業、漁業、林業、インフラ、鉱業、化石燃料部門等）における体系的な変化を推進
3. 自然と公平性のために経済システム（支配的な経済・金融パラダイム）を変革し、私的利益よりも自然と社会的公正を優先
4. 意思決定に多様な利害関係者を関与させ、統合性、包括性、説明責任、適応性を備えたガバナンス・システムに変革
5. 支配的な社会の見方や価値観を変え、人と自然の相互関係を認識し優先

④すべての人々の役割

- 関係的価値が不可欠：人と自然の相互依存関係、人間以外の生命体の主体性の認識
- 多様な主体による協働：すべての関係主体とセクターがビジョンを描き、協働し、社会全体・政府全体でアプローチ、そして公平と公正の原則を満たすためにバランスの取れた意思決定の確保
- 政府は自然に利益をもたらす革新的な経済・財政手段を導入することが必要
- 市民社会のイニシアチブを支援